

2015年下期の景気見通し

-----アベコベノミクス不況の出口はいずこに！-----

一般社団法人 日本経済協会 理事長
経済学博士 田村 正勝

【 目次 】

- (一) 景気回復の遅滞と一部大手の最高益——まだら不況
 - (1) 不況の実態——消費・生産低迷かつ在庫増大
 - (2) 金融緩和と不動産バブル——震災復興と公共事業の滞り
 - (3) 円安ゆえの「海外配当の水膨れ」と株高による最高益

- (二) 中小企業と地方経済の苦境
 - (1) 川上インフレ・川下デフレの昂進——中小企業の利幅縮小
 - (2) アベコベ労働政策と低い「売上高利益率」と「労働生産性」
 - (3) 地方経済の苦境——出口はいずこに！

- (三) アベコベノミクスと円安がもたらす功罪
 - (1) 貿易赤字の激増・経常黒字の激減を産む円安策
 - (2) 国民生活を圧迫する見当外れの「円安」「株価吊り上げ策」「法人減税」
 - (3) アベコベ税制改訂と格差拡大で消費不況の持続
 - (4) 深刻化増す財政赤字——改善策は「無利子百年国債」
 - (5) 円安による「外国人の消費」と観光産業・交流人口

- (四) まだら不況の出口——ワークシェアと企業倫理
 - (1) 非正社員の激増と円安倒産および国民生活の苦境
 - (2) まず有給休暇そしてワークシェア——中小企業の団結
 - (3) 法令遵守と企業統治および社会的責任

- (五) 日本経済を取り巻く国際環境
 - (1) 中国の苦境と「新常态」政策
 - (2) ASEAN共同体の形成——日本企業のチャンスと懸念
 - (3) アメリカの景気回復——日本経済および株価に対する影響